

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	河川事業		路線又は箇所名等		一級河川 利根川水系 根木名川、派川根木名川、十日川	
事業所管課			河川整備課		事業主体		千葉県	
事業化年度	平成20年	用地着手年度	平成20年	工事着手年度	平成20年	再評価の理由	再々評価	
費用便益比 B/C	5.68 [4.50]	総費用 (現在価値)	47.8 億円 [67.8]	総便益 (現在価値)	271.7 億円 [304.7]	基準年	平成25年	

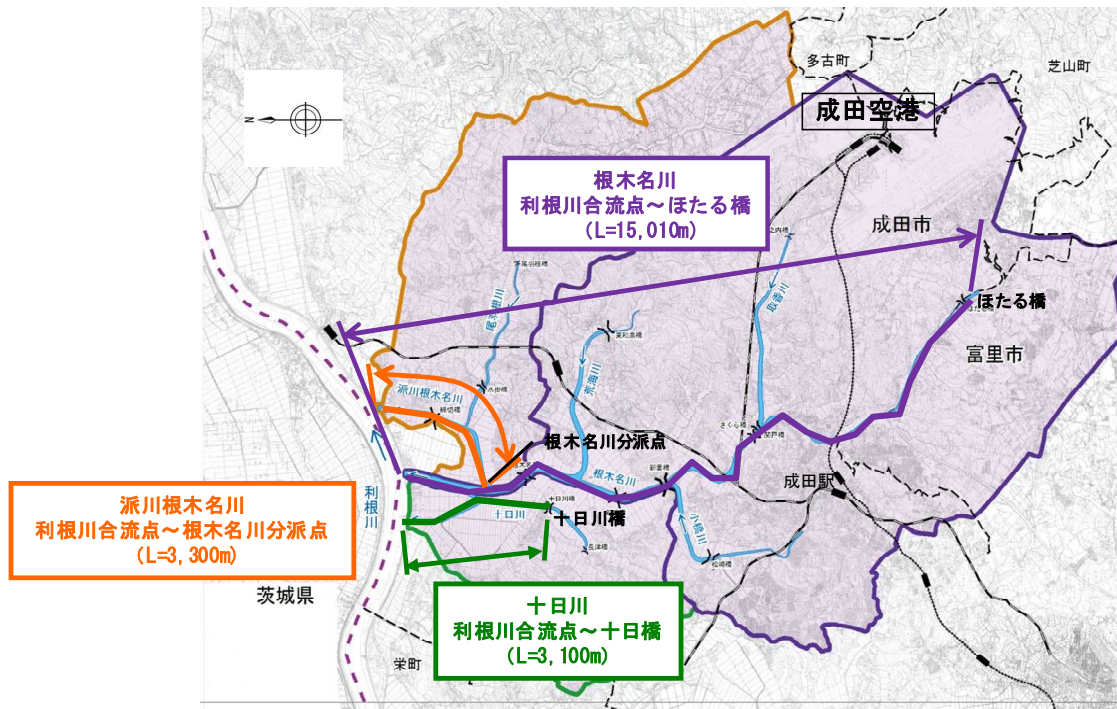
(裸書 : 残事業、 [] : 全体事業)

<p>事業概要</p> <p>(目的)</p> <p>根木名川流域には成田国際空港があり、根木名川は昭和43年より旧中小河川改修事業(空港関連事業)により改修が進められてきた。その後、空港関連などにより流域内での住宅地開発などが進められる一方、下流部の水田地帯は2~3年に1度、浸水被害に見舞われていた。このため、平成6年度に全体計画が変更され、事業区間を延伸し、平成19年度に河川整備計画を策定し、根木名川のみならず十日川や派川根木名川流域を含む水系一帯の治水安全度の向上を図る。</p> <p>(主な実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河道改修(河道拡幅、掘削、築堤) <p style="padding-left: 40px;">根木名川 : 15,010m 十日川 : 3,100m 派川根木名川 : 3,300m</p>										
<p>事業の進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">全体計画(億円)</th> <th style="width: 20%;">投資事業費(億円)</th> <th style="width: 20%;">残事業費(億円)</th> <th style="width: 30%;">進捗率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">全 体</td> <td style="text-align: center;">85.7</td> <td style="text-align: center;">17.5</td> <td style="text-align: center;">68.2</td> <td style="text-align: center;">20.4</td> </tr> </tbody> </table>		全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)	全 体	85.7	17.5	68.2	20.4
	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)						
全 体	85.7	17.5	68.2	20.4						
<p>社会経済情勢等</p> <p>①流域状況</p> <p>根木名川流域には成田国際空港や成田市街地があり、昭和40年代から、成田ニュータウンをはじめとする住宅団地や野毛平などの工業団地の造成が盛んに行われてきた。一方、河川沿いは、特に下流部の利根川との合流点付近で広い水田地帯となっている。根木名川の改修事業は空港関連事業として進められてきたが、水田や低い土地にある住宅や国道の湛水被害は現在も発生しており、未改修区間の治水安全度の向上が望まれている。なお、洪水時は根木名川、十日川流域の被害がその双方に及び、利根川水位上昇時においては、根木名川、十日川、派川根木名川すべてが内水氾濫状態となるため、これら3河川の改修事業は一つの事業として実施されている。</p> <p>②主な水害状況(根木名川流域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和57年9月(台風18号) 浸水面積 1186ha 浸水家屋数222戸 ・平成8年9月(台風17号) 浸水面積 760ha 浸水家屋数16戸 <p>③投資効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水戸数 768戸 [777戸] ・浸水面積 951ha [1002ha] (裸書 : 残事業、 [] : 全体事業) <p>④その他(関連事業)</p> <p>成田国際空港、首都圏中央連絡道路、北千葉道路 等</p>										
<p>対応方針(案)</p>	<p>事業を「継続」し、計画的に事業の推進を図る。</p>									

事業概要図

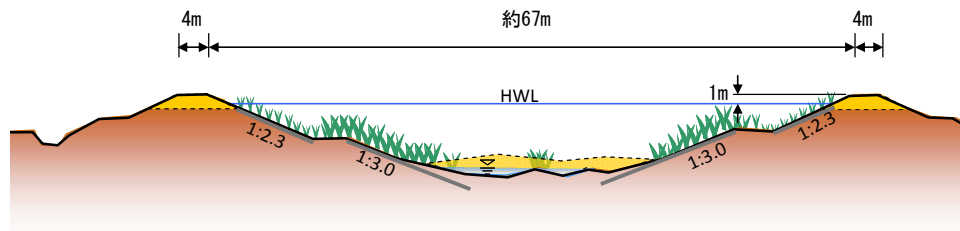
番号	2	事業名	河川事業	路線又は 箇所名等	一級河川 利根川水系 根木名川、派川根木名川、十日川
----	---	-----	------	--------------	-------------------------------

計画平面図

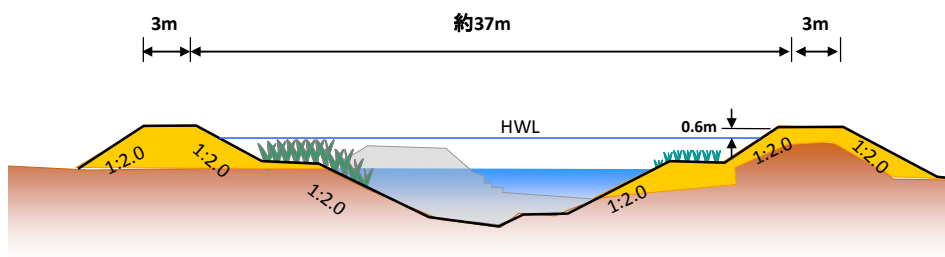


代表断面

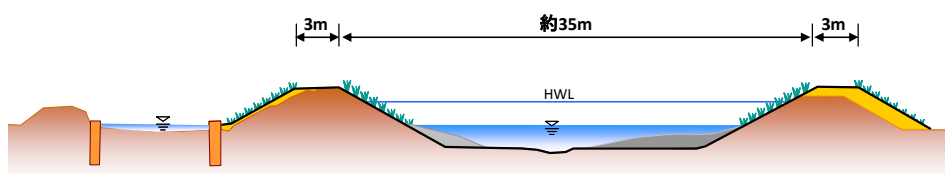
根木名川 (利根川合流点～新妻橋)



十日川 (利根川合流点～十日川橋)



派川根木名川 (利根川合流点～尾羽根川)



再々評価事業に関する調書

番号	2	事業名	河川事業	路線又は 箇所名等	一級河川 利根川水系 根木名川、派川根木名川、十日川	
事業化年度	平成 20 年	用地着手年度	平成 20 年	工事着手年度	平成 20 年	

【再々評価(H20年度)の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 20 年度	供用開始年度	平成 26 年度	対応方針	継続
B/C	6.43	総費用	86.4 億円	総便益	555.7 億円

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H20)
事業費	151.4 億円	70.8 億円 (46.8%)
うち用地補償費	-	-
うち工事費	-	-

【再々評価 (H25年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 25 年度	供用開始年度	平成 49 年度	対応方針	継続
B/C	5.68 [4.50]	総費用 (現在価値)	47.8 億円 [67.8]	総便益 (現在価値)	271.7 億円 [304.7]

(裸書：残事業、[]：全体事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H25)
事業費	85.7 億円	17.5 億円 (20.4%)
うち用地補償費	2.4 億円	0.4 億円 (17.4%)
うち工事費	75.5 億円	15.8 億円 (20.8%)

再評価後の
経過
及び
処理状況

平成20年11月 手賀沼・印旛沼・根木名川圏域流域懇談会 根木名川部会 再評価
(継続が妥当である)